

SERI NEWS RELEASE

平成 25 年 12 月 25 日

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 鈴木一雄
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL054-250-8750
FAX054-250-8770

「主婦の消費動向アンケート調査」結果 景況感は大幅に改善するも 消費税増税を控え家計の引き締め続く

(担当：梅原加奈子・山本愛里)

主婦の消費動向アンケート調査

景況感は大幅に改善するも 消費税増税を控え家計の引き締め続く

◆最近の景気について、「悪くなっている」が14.1%まで低下するなど、主婦の景況感
はリーマン・ショック以前の水準まで戻った。ただし、消費税増税後への不安感など
から、今後の家計支出を「引き締めたい」とする主婦は7割近くに上る。

◆この1年間に“充実させた費目”は、主に「子供の教育費」で、今後“充実させたい費目”
は「旅行・レジャー費」が最も多い。一方、今後“節約したい費目”としては、「外食費」
や「水道光熱費」と回答する主婦が多かった。

◆消費税増税を控え、前倒し購入がみられる一方で、家計の引き締め走る主婦も少な
くない。ようやく明るさが見え始めた景気が、増税によって腰折れすることのないよ
う、政府による有効的な経済対策の実行が求められる。

<調査概要>

①調査対象

静岡県内サラリーマン世帯の
家計を預かる主婦 1,354名

②調査方法

静岡銀行本支店の店頭および
自宅にて記入を依頼

③調査時点

平成25年11月

④回答者の内訳

<年齢別>

20代(4.6%)、30代(15.1%)

40代(41.0%)、50代(31.2%)

60代以上(3.8%)、不明(4.3%)

<世帯別収入>

300万円未満(12.5%)

300万円以上500万円未満(16.2%)

500万円以上700万円未満(25.5%)

700万円以上900万円未満(17.2%)

900万円以上(22.8%)

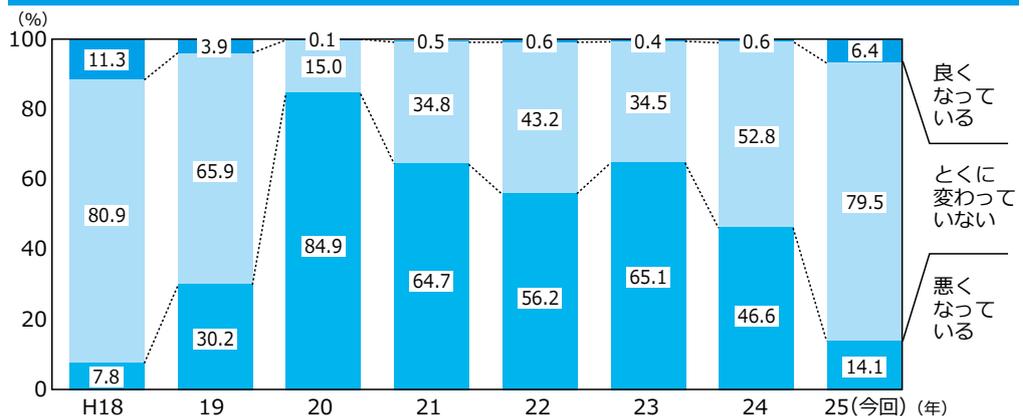
不明(5.8%)

“景気悪化”回答は14.1%まで減少 リーマン・ショック前の水準に戻る

県内サラリーマン世帯の主婦を対象に最近
の景気について尋ねたところ、「とくに変
わっていない」が8割近くと大勢を占めるも
の、「悪くなっている」との回答が14.1%
まで低下し、リーマン・ショック前の水準に
戻った。景気回復への期待感から、主婦を取り
巻く景況感も持ち直している(図表1)。

また、生活レベルの満足度については、
“満足派”(「満足」+「どちらかという
と満足」)が“不満派”(「不満」+「どちらかとい
うと不満」)を上回り+16.0と、平成6年調査
以来19年ぶりに10ポイントを超えた(図表
2)。景況感の改善に伴い、生活に対する満
足感が戻りつつある様子である。

図表1 最近の景気について(各年11月)



研究員 梅原加奈子
Kanako Umehara

研究員 山本愛里
Airi Yamamoto